

# 「第十堰樹木刈り取り計画(原案)」に関する意見及び回答について

No.	年齢	性別	意見の内容	回答
1	29	男性	一部の樹木は根が石畳に食い込んでいるかと思えますので、その樹を伐採したときに石畳が崩れないか、おそらくは検討済みとは思いますが気になります。伐採後にそうした箇所をどうするかということについては、全体の補修計画とは別途、梅雨や台風の時期までに応急処置をするのかどうかといったことも公表していただければ安心です。	刈り取りの際に青石張りが崩れないかという点ですが、今回の刈り取りの方法は、地上に出ている幹を切るようにしているため、青石張りが崩れないよう配慮しています。 応急処置については、2月下旬より実施することとしており、それについての計画原案について意見募集を実施しました。また、他の青石張り等については、現在実施中の形状把握調査の結果をもとに学識者及び住民の意見を聴きながら、必要に応じて補修計画を策定し適宜補修を行う予定です。
2	63	男性	全伐でない、最上流部は1～2列残してはどうでしょうか？洪水時倒れて石積の表面を覆い、流速を減じる効果があるのではないのでしょうか。	青石の流出等の破損の原因は、流水による直接的な影響だけでなく、樹木による影響も否定できないため、河川管理施設を健全に保つためには、現在の樹木繁茂の状態は好ましいものではありません。そのため、今後の洪水においてさらなる青石の流出を防ぐため、堰上全ての樹木の刈り取りが必要です。
3	34	男性	第十堰の景観を損わないよう、また堰の損壊を少しでも防ぐことできるように伐りとりを専門の方にお聞きしてすすめてもらいたい。☆個人での参加は可能ですか？決められた日ではなく、日・祝祭日のみの参加もできますか？考えて頂きたいです。	今回の樹木刈り取りについては、河川工学・植物社会学・鳥類の有識者に意見を聞きながら進めております。 日曜日・祝祭日の希望の方が多いため、3月6日の日曜日に「みんなで第十堰の樹木を刈りとりよう」を実施することとしています。また、住民の皆様を対象としているため、個人参加もできます。
4	57	女性	第十堰樹木刈り取りにみんなで参加できる事大変有意義だと思ひ、賛同いたします。青石張りの上堰の破損を食い止めるためにも、みんなで守っていこうとの呼びかけ本当に嬉しく思います。ありがとうございます。	ご賛同ありがとうございます。
5	50	女性	住民が参加出来る日を増やしていただけますか？	日曜日・祝祭日の希望の方が多いため、3月6日の日曜日に「みんなで第十堰の樹木を刈りとりよう」を実施することとしています。
6	48	女性	国交省が樹木を刈りとり青石の堰の破損を防ぐように計画をたててくれたのは本当に嬉しく思います。しかし青石張りを崩さずに樹木をとるには、何でも根こそぎとればよいということではなさそうです。住民参加の「みんなで刈りとりよう」の日を日曜日か祝日に設けていただき、青石や樹木のことをよく知っている住民の意見を参考にし、樹木を切る作業を進めていただきたいと思います。	今回の刈り取りの方法ですが、地上に出ている幹を切るようにしているため、青石張りが崩れないよう配慮しています。 日曜日・祝祭日の希望の方が多いため、3月6日の日曜日に「みんなで第十堰の樹木を刈りとりよう」を実施することとしています。 今回、樹木の刈り取りの実施にあたっては、住民の皆様の意見を聞き、できる限り計画に反映させるために、意見募集を実施しました。
7		男性	日頃は大変お世話になっております。歴史的建造物である第十堰の青石組を保全のため、樹木の刈り取りを行って頂けること、さらには刈り取り作業には住民も参加させていただけるということで、先ずはお礼を申し上げます。今度ともこうした樹木刈り取りだけでなく、様々な事業についても住民参加の機会を設けて頂きますようお願いいたします。原案に関して、意見を述べさせていただきます。1、「みんなで第十堰の樹木を刈り取ろう」(住民との共同作業)は、1日ではなく日数を増やして頂くようお願いいたします。2、寄せられた意見は、ホームページやマスコミを通じて公表して頂くようお願いいたします。3、河岸の浸食防止に伝統工法を取り入れて、刈り取ったヤナギを植生護岸へ利用することも検討下さい。	日曜日・祝祭日の希望の方が多いため、3月6日の日曜日に「みんなで第十堰の樹木を刈りとりよう」を実施することとしています。 いただいた意見に対する回答は記者発表・ホームページで公表しております。 刈り取ったヤナギを護岸へ利用することについての提案に関しては、生態系に配慮した多自然型川づくりの重要性については認識しております。しかし、近年、河道内で繁茂の著しい樹木の河川管理上の影響が懸念されているため、いただいた意見は今後の検討の一助とさせていただきます。
8	53	女性	青石張りの破損を防ぐためであれば、毎年、第十堰樹木刈り取りを実施した方がより効果があるのでは。予算的にも住民参加の方に重点をおいた方が安くできるのでは。	樹木刈り取り後の維持管理については、樹木が大きくなり約3年毎の刈り取りを考えておりますが、必要が生じた場合には適宜実施いたします。 また、今後も継続的に、住民の皆様と協同で樹木刈り取りを行っていきたく考えています。
9	50	男性	今回、住民参加で柳の刈り取りを行うことになったこと、新河川法の理念に基づいた新しい河川行政の一步になると考え高く評価します。今後も住民の要望を反映していただくためにさらなるコミュニケーションの場をつくられていくことを期待します。刈り取りに当たっては、事前に地元住民との打ち合わせ、意見交換をお願いします。柳の根は、本来近自然工法として有効に利用できますので、そのあたりを視野に入れた今後の管理方法もご検討していただければと思います。住民の意見を広く公開していただくと同時に、ビニールなどの河川のゴミ問題も、今回の刈り取り作業を通じて広く県民に伝えていただく機会になればと思います。上堰の青石組は先人が地域に残したすばらしい遺産でありますし、土木、建築、造園の世界にとっても歴史的財産であります。経済が沈滞化する中で半端でないすばらしい観光資源になります。この堰を保全するために、地場石を扱う技術と地場産業の育成に発展することを願いますし、また自然石を扱う技術の波及効果の意味は地球環境時代に大きいと考えます。また安定した堰の保全ができますよう、上流からの砂利が供給されるような河川管理を、今後検討していただくようお願いいたします。	樹木の刈り取りの実施にあたっては、住民の皆様の意見を聞き、できる限り計画に反映させるために、意見募集を実施しました。また、いただいた意見に対する回答は、記者発表・ホームページで公表しております。 ヤナギの根は残し、樹木が大きくなり約3年毎に刈り取る方法で管理していきます。 河川のゴミ問題については、河川愛護の一環で一斉清掃などを実施しており、今後も引き続き河川愛護の活動を実施していきます。しかし、行政のみで対応することには限界があり、地域住民・ボランティアの方々など吉野川に関わる全ての住民の皆様の協力なしには解決できないため、今後とも住民の皆様と協力していきたく考えています。
10	40	男性	第十堰のヤナギ等の樹木の刈り取りを住民参加でされるという計画を歓迎します。今後もこういった河川管理については広く住民と一緒に考えながら実施していく方向にしていいただければと思います。また、作業は1日だけでなく数日間あるいは全日行程において住民参加でされてはいかがでしょうか。ゴミ拾いを兼ねて。またアンケート結果も公表される事を望みます。	日曜日・祝祭日の希望の方が多いため、3月6日の日曜日に「みんなで第十堰の樹木を刈りとりよう」を実施することとしています。 いただいた意見に対する回答は、記者発表・ホームページで公表しております。

※順番は、提出順です。